

放課後部活動オフ期間 生徒アンケート結果について (ver1)

調査の概要

1 目的

放課後部活動オフ期間(以下、「オフ期間」と記載)を実施した令和2年1月の一か月の間の、生徒の活動実態や気持ち・体調の変化、感想・要望を把握することにより、今後の部活動の在り方や、生徒が有意義な時間を過ごすための方策の検討に役立つ。

2 調査対象と内容

市内中学校1、2年生の全員(1802名)を対象として、オフ期間終了の翌週(2/3月~2/7金)の間に、6問からなるアンケートを各中学校において実施。1601名の生徒から回答を得た。

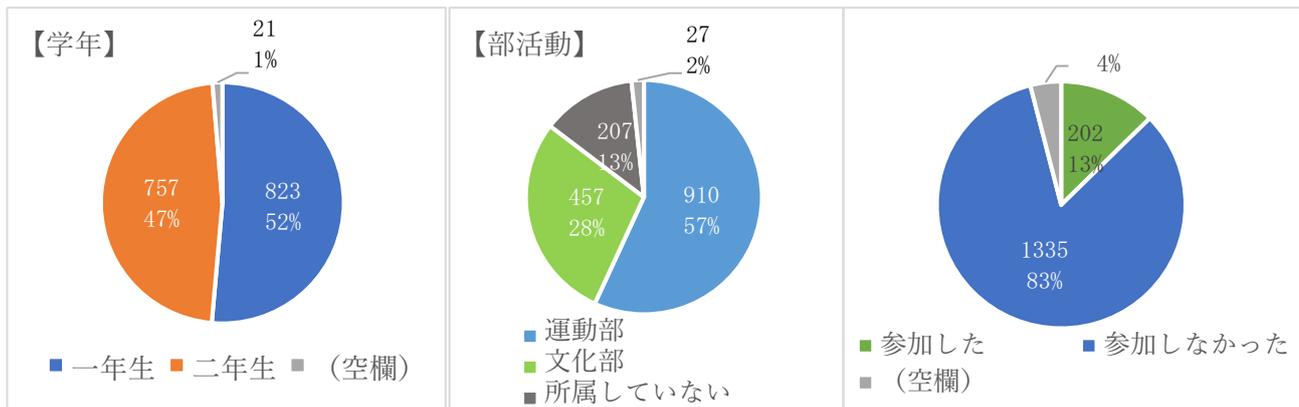
(質問内容)

- 質問1 回答者の属性(学年、部活、全市型競技別スポーツスクールへの参加)
- 質問2 オフ期間に生じた時間の使い方と、それぞれの活動に感じた有意義度
- 質問3 オフ期間中に感じた気持ちや体調の変化
- 質問4 全市型競技別スポーツスクールに参加しなかった理由
- 質問5 あれば参加したい全市型のスクール活動
- 質問6 自由記述

調査の結果

I 質問項目ごとの単純集計

【質問1】**全員** 回答者の属性について選択(有効回答数:1601)



(学年・部活を回答した生徒の内訳)

	運動部	文化部	所属せず
1年生	478名	237名	100名
2年生	431名	218名	106名

(全市型競技別スポーツスクール参加202名の内訳)

	運動部	文化部	所属せず
1年生	100名	6名	9名
2年生	75名	6名	5名

※ 属性無回答者が1名

【質問2】部活動加入者のみ (有効回答数:1367)

オフ期間中に普段より活動が増加した項目を選択し、その活動に対して感じた有意義度を4段階に評価

【アンケートの選択肢】

- ① 一人でゆっくりと過ごす時間 ② 夕食など、家族、兄弟と一緒に過ごす時間
- ③ 親、家事、家の手伝い ④ 友人との遊びや会話 (SNS等は除く)
- ⑤ 友人との SNS 等のネットでの交流 ⑥ 地域での活動(お祭りや行事への参加)
- ⑦ 学校の宿題や予習・復習 ⑧ 自分の興味や関心のある分野の学習
- ⑨ 学習塾での勉強時間 ⑩ 読書 ⑪ マンガ ⑫ 音楽を聴く、楽器を演奏する
- ⑬ テレビ (ビデオを含む) ⑭ インターネットや動画の閲覧・視聴 ⑮ ゲーム
- ⑯ 全市型競技別スポーツスクールへの参加 ⑰ 自主トレーニング、地域でのスポーツ活動
- ⑱ 自分の趣味の時間 ⑲ 睡眠時間(寝ている時間) ⑳ その他(自由記述)

	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮	⑯	⑰	⑱	⑳	
4 有意義	419	286	133	266	175	53	308	193	105	235	237	454	375	433	321	84	226	454	275	6
3どちらかといえば有意義	263	162	160	119	93	43	263	127	64	90	96	145	173	169	109	36	114	135	91	0
2あまり有意義ではなかった	57	27	44	14	14	16	50	25	10	23	17	19	35	30	33	4	22	19	20	0
1有意義ではなかった	26	9	11	4	10	11	10	5	14	12	13	12	23	21	17	23	13	11	14	4
合計	765	484	348	403	292	123	631	350	193	360	363	630	606	653	480	147	375	619	400	10
	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮	⑯	⑰	⑱	⑳	
4 有意義	54.8%	59.1%	38.2%	66.0%	59.9%	43.1%	48.8%	55.1%	54.4%	65.3%	65.3%	72.1%	61.9%	66.3%	66.9%	57.1%	60.3%	73.3%	68.8%	60.0%
3どちらかといえば有意義	34.4%	33.5%	46.0%	29.5%	31.8%	35.0%	41.7%	36.3%	33.2%	25.0%	26.4%	23.0%	28.5%	25.9%	22.7%	24.5%	30.4%	21.8%	22.8%	0.0%
2あまり有意義ではなかった	7.5%	5.6%	12.6%	3.5%	4.8%	13.0%	7.9%	7.1%	5.2%	6.4%	4.7%	3.0%	5.8%	4.6%	6.9%	2.7%	5.9%	3.1%	5.0%	0.0%
1有意義ではなかった	3.4%	1.9%	3.2%	1.0%	3.4%	8.9%	1.6%	1.4%	7.3%	3.3%	3.6%	1.9%	3.8%	3.2%	3.5%	15.6%	3.5%	1.8%	3.5%	40.0%
合計	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

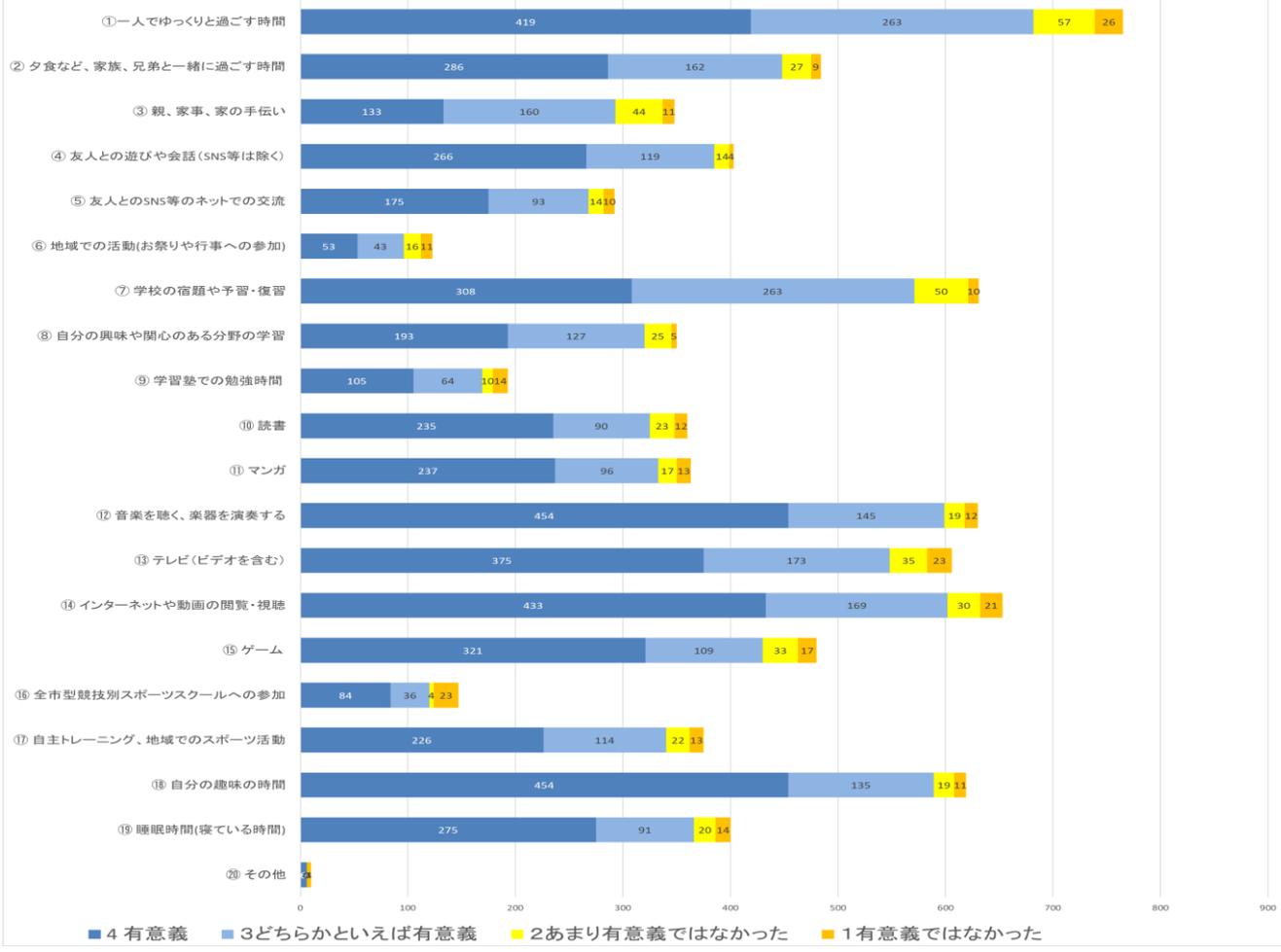
◆オフ期間に生じた時間は、特定の活動に集中せず、多様な使われ方をしている。

【回答割合が多かった項目】

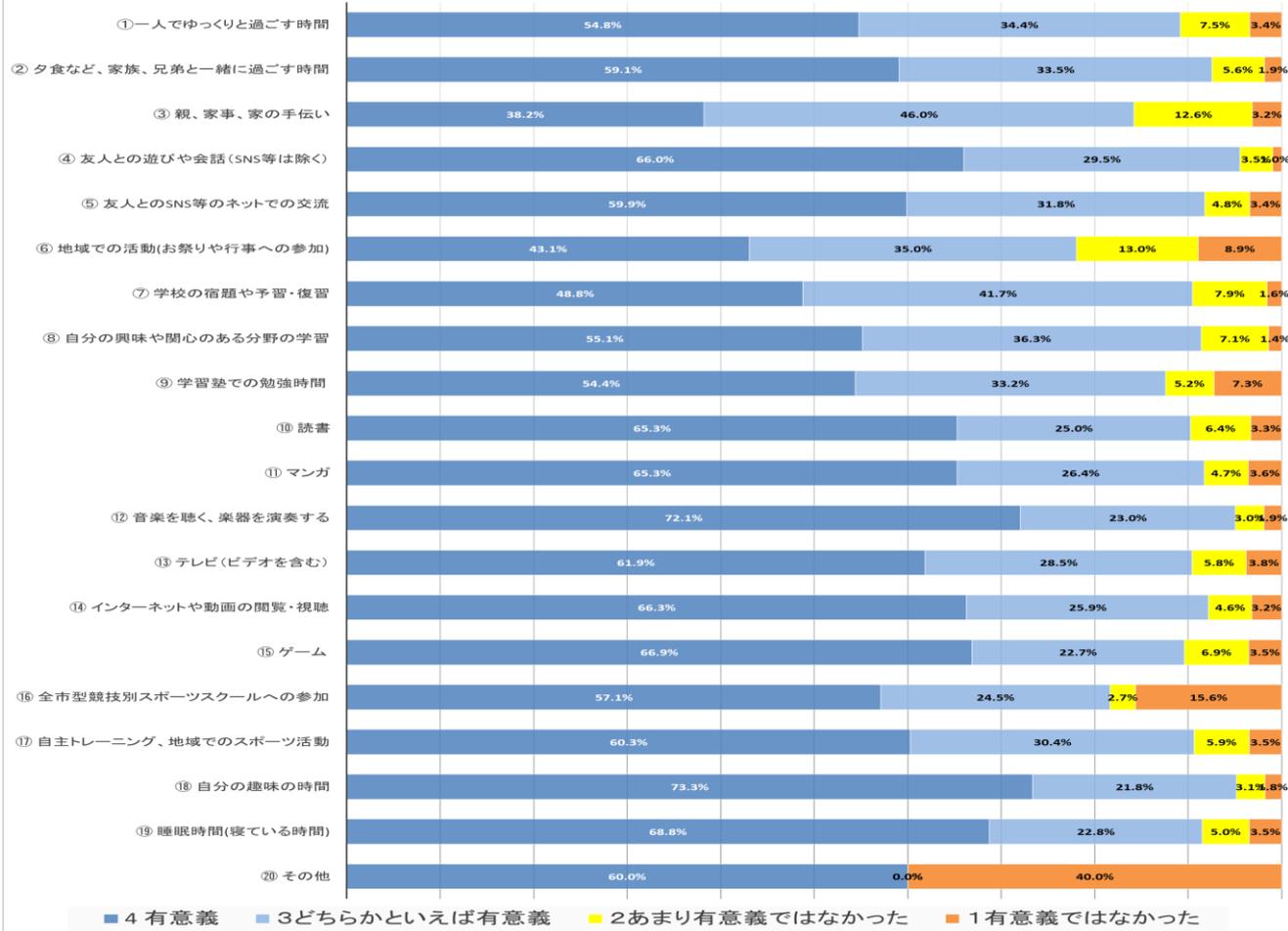
- ・一人でゆっくりと過ごす時間(55.4%) ・インターネットや動画の閲覧・視聴(47.5%)
- ・音楽を聴く、楽器を演奏する(46.0%) ・学校の宿題や授業の予習・復習(45.6%)
- ・自分の趣味の時間(45.1%) ・テレビ(ビデオを含む) (44.6%) ・ゲーム(35.3%)
- ・夕食など、家族、兄弟と一緒に過ごす時間(35.0%)
- ・睡眠時間・友人との遊びや会話(SNS等は除く) (29.8%)

◆全ての活動について、ほとんどの生徒は活動時間の増加を有意義と捉えている。

【質問2】(部活加入者のみ)一か月間、放課後の部活動がなくなったことにより、あなたの生活はどう変化しましたか。

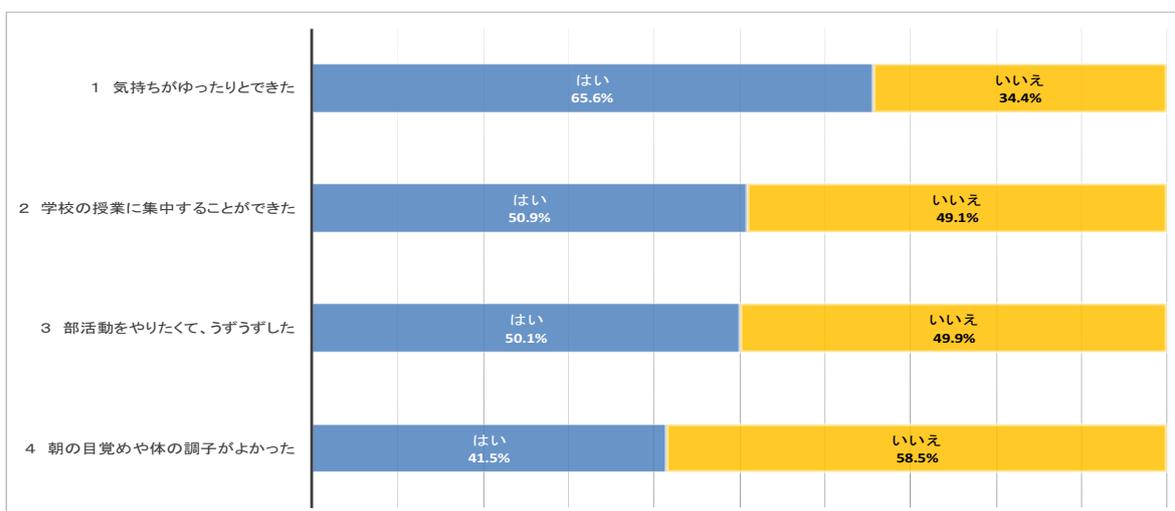


【質問2】(部活加入者のみ)一か月間、放課後の部活動がなくなったことにより、あなたの生活はどう変化しましたか。



【質問3】部活動加入者のみ (有効回答数:1311)

オフ期間中に気持ちや体調の変化を感じたかを、項目ごとに「はい」か「いいえ」を選択



- ◆ 約3人に2人の生徒が「気持ちがゆったりとできた」と感じたとは回答。
- ◆ 「学校の授業に集中することができた」「部活動をやりたくて、うずうずした」と感じた生徒は、共にほぼ半数。
- ◆ 4割以上の生徒が「朝の目覚めや体の調子がよかった」と感じたとは回答。

【質問4】全市型競技別スポーツスクールに参加しなかった人

全市型競技別スポーツスクールに参加しなかった理由を複数回答で選択 (有効回答数:1399)

- ・ やりたい競技や興味がなかった 773名 (55.3%)
- ・ 他にもやりたいことがあった 362名 (25.9%)
- ・ どんな内容か、不安だった 286名 (20.4%)
- ・ 一緒に行く友人がいなかった 239名 (17.1%)
- ・ 送迎の車(交通機関)がなかった 217名 (15.5%)
- ・ 経済的な事情(お金がなかった) 78名 (5.6%)
- ・ その他 244名 (17.4%)

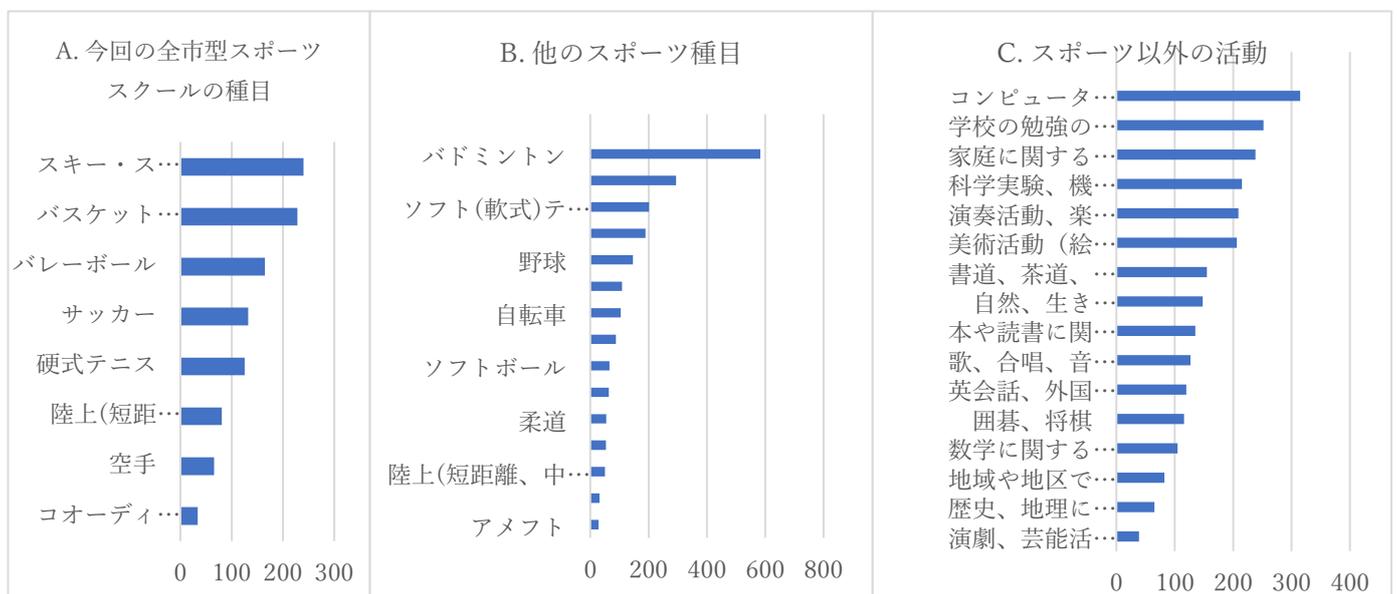
- ◆ 半数以上の生徒が「やりたい競技や興味がなかった」を選択。
- ◆ 「どんな内容か、不安だった」、「一緒に行く友人がいなかった」、「送迎の車(交通機関)がなかった」もそれぞれ20%~15%の生徒が選択。
- ◆ 「その他」の主な回答
 - ・ 全市型競技別スポーツスクールの存在を知らなかった
 - ・ 申し込みが終わっていると思っていた
 - ・ 習い事が忙しくて時間がなかった
 - ・ 当日忘れていた
 - ・ 普段からこうした活動には参加しない

【質問5】**全員**あれば参加してみたい「全市型競技別スポーツスクール」型の活動を複数回答で選択

(有効回答数:1601)

5

A. 今回の全市型スポーツスクールの種目		B. 他のスポーツ種目	
スキー・スノーボード	240	バドミントン	583
バスケットボール	228	卓球	294
バレーボール	165	ソフト(軟式)テニス	202
サッカー	132	弓道、アーチェリー	190
硬式テニス	125	野球	147
陸上(短距離、中距離走)	81	新体操・ダンス	109
空手	66	自転車	105
コーディネーショントレーニング	34	水泳	88
		ソフトボール	66
		ラグビー	64
		柔道	55
		剣道	54
		陸上(短・中距離以外)	81
		合気道	32
		アメフト	28
		その他	
C. スポーツ以外の活動			
コンピュータ関連の活動(プログラミング、動画編集)		315	
学校の勉強の補習(授業でわからなかったところを補っていく勉強)		252	
家庭に関する活動(調理、手芸、編物)	238	歌、合唱、音楽鑑賞	127
科学実験、機械や木工などの工作活動	215	英会話、外国語活動、国際交流活動	120
演奏活動、楽器の練習や体験	209	囲碁、将棋	116
美術活動(絵画、イラスト、陶芸、写真)	206	数学に関する活動(パズル、数学クイズ)	105
書道、茶道、華道	155	地域や地区での自由な活動	82
自然、生き物、宇宙に関する活動	148	歴史、地理に関する活動	65
本や読書に関する活動(輪読会、朗読会)	135	演劇、芸能活動(人形劇、人形浄瑠璃)	39



◆ 今回の全市型競技別スポーツスクールに無かった種目の人気トップ3は、**バドミントン、卓球、ソフト(軟式)テニス**。

◆ スポーツ以外の活動の人気トップ3は、**コンピュータ関連(プログラミング、動画編集)、学校の勉強の補習、家庭に関する活動(調理、手芸、編物)**。

◆ 生徒一人当たり平均して**3.6個**の活動を、あれば参加したいものと選択。

◆ オフ期間に賛成する記述とオフ期間に反対する記述はほぼ同数で、共に全体の約2割。

【カテゴリー別の回答数と代表例】

①オフ期間は評価できる。継続してもらいたい (347名 : 全体の22%)

- 勉強時間や家族と過ごす時間が増えてすごくよかった。これからもこのような時間がほしい。
- 今までは延長部活の後に習い事など大変だったので、今回のオフ期間のように続けてほしい。
- 体も休みストレスもたまりにくくなって良かった。今までは宿題のやる気がおきなかったが、この期間ははかどった。
- オフ期間はとても気が楽で一日が充実した。来年度以降も続けてほしい。
- オフ期間を長くしてほしい。友人と遊ぶなどの理由では部活を休めないため、部活ももう少し緩くしてもらいたい

②オフ期間は不要。部活動がやりたかった (319名 : 全体の20%)

- 一か月で体がなまった。仲間と会えるのも楽しいので、部活がやりたい。
- 既に部活の時間が減っている中、他地区、他県と差が出てしまう。
- 逆に部活動の時間を増やしてほしい。
- 早く部活をやりたいという気持ちが強く、クラブへ行ったりしていた。
- ゲームの時間が増えてしまった。部活があった方がいい。

③良い面も悪い面もあった (154名 : 全体の10%)

- オフ期間は楽しく過ごせたけれども、部活がやりたくなかった時もあった。
- 自分の時間が増えたのはよかったが、時間の活用効率が悪くなった気もした。
- 学習には今までよりも集中できたが、体がなまって運動をしたかった。

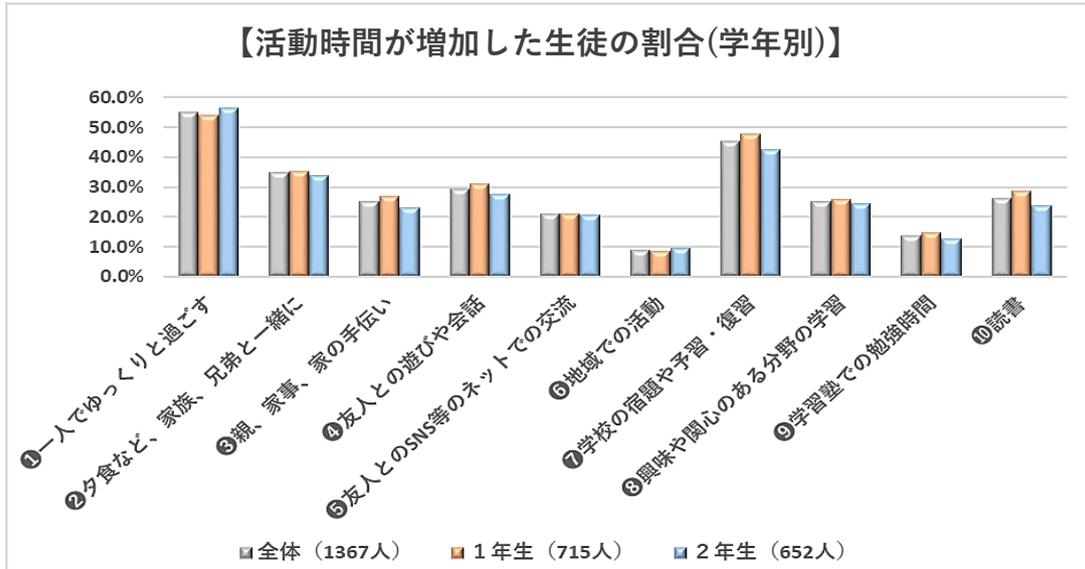
④改善に関する意見等 (208名 : 全体の13%)

- 放課後ではなくて朝部活をオフにした方が良い。
- 土日はどちらかの一日だけとして、延長部活動の時間も短くすべき。
- 地域のクラブチームとして練習できる環境がほしい。

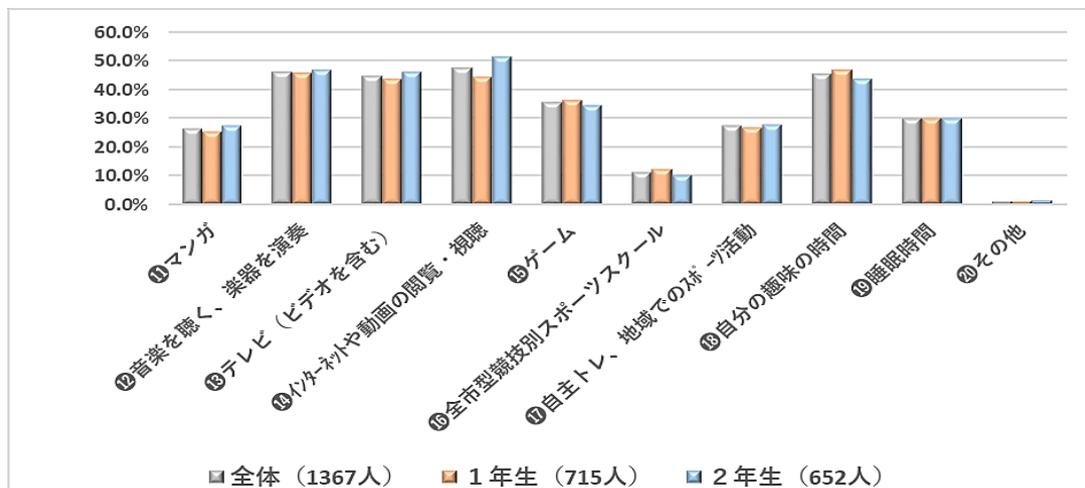
⑤無記入 (573名 : 全体の35%)

II 詳細な分析

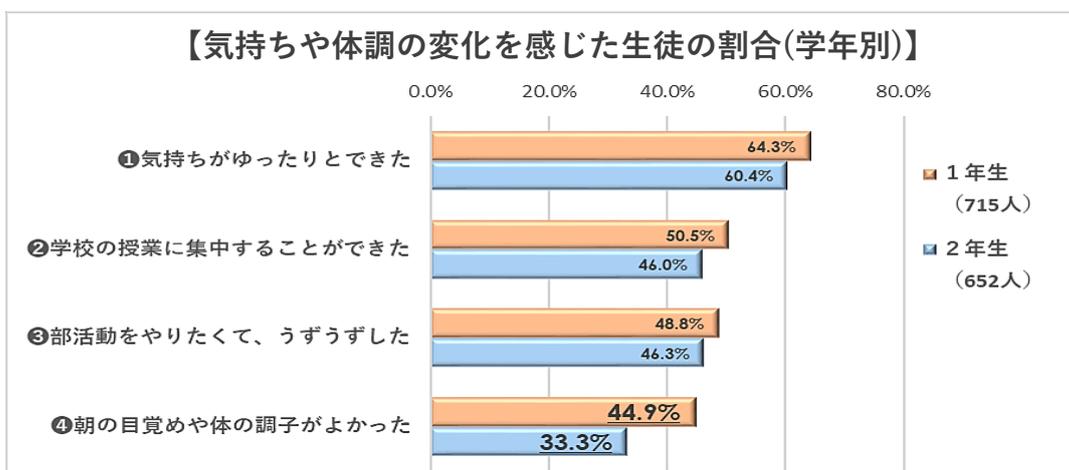
【①学年ごとの時間の使い方、気持ちや体調の変化】



17

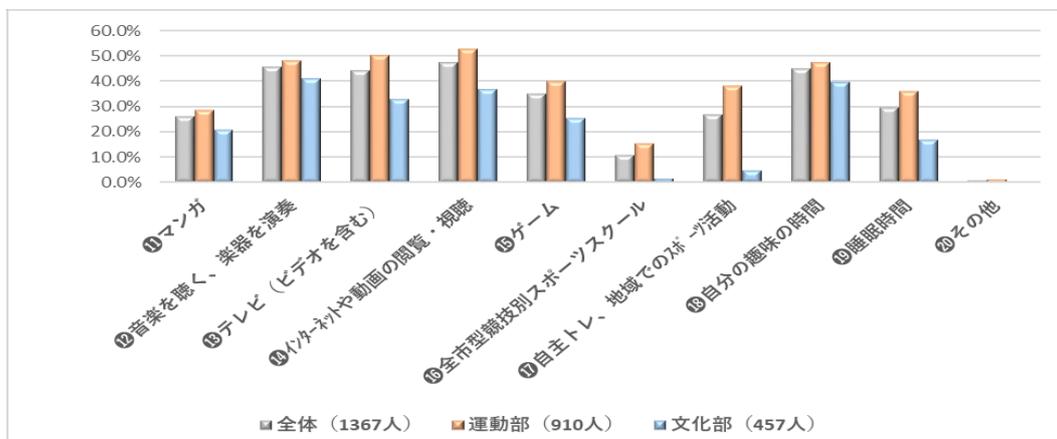
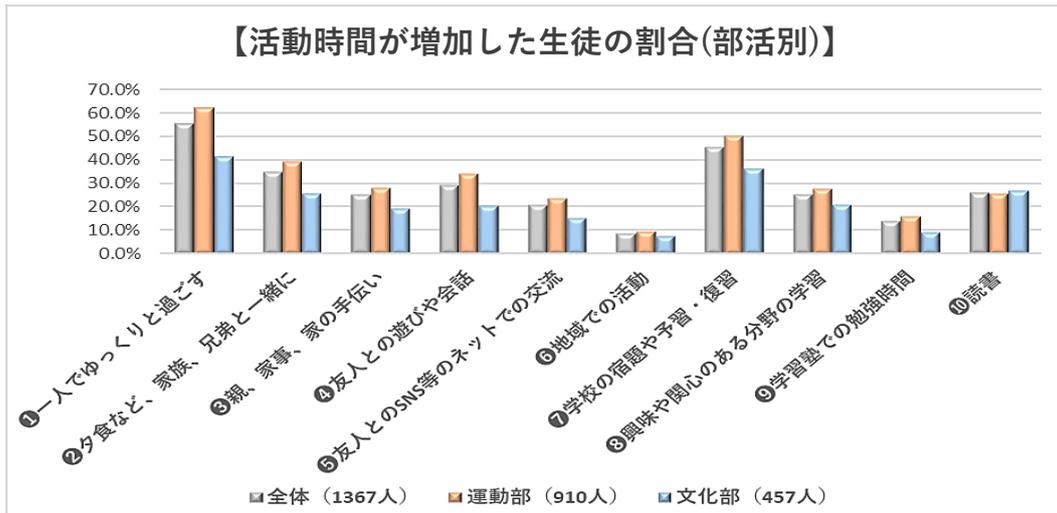


◆時間の使い方については、学年の間に違いはほとんど見られない。



- ◆気持ちや体調の変化については、全ての項目において1年生の方が変化を感じたとの回答が上回る。
- ◆特に「朝の目覚めや体の調子良かった」については約11ポイントの差があった。体力面でもまだ部活動に慣れきっていない1年生の方がオフ期間による体調面への効果が大きかったと考えられる。

【②運動部・文化部ごとの時間の使い方、気持ちや体調の変化】



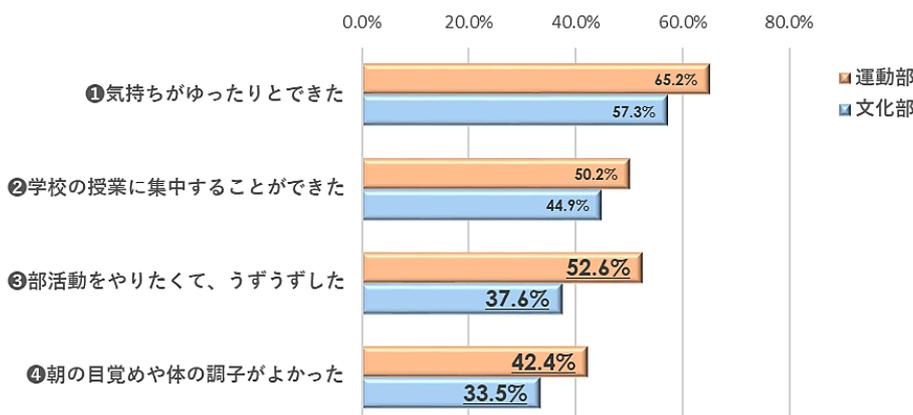
◆ほとんど全ての項目において、運動部の方が活動時間増加が大きい。
例外として、読書ではわずかに文化部の割合が上回っている。

【大きな(15ポイント程度)の差がついた項目】

「一人でゆっくりと過ごす時間」「夕食など、家族、兄弟と一緒に過ごす時間」「友人との遊びや会話(SNSは除く)」「学校の宿題や予習・復習」「テレビ(ビデオを含む)」「インターネットや動画の閲覧・視聴」「ゲーム」「全市型競技別スポーツスクールへの参加」「自主トレーニング、地域でのスポーツ活動」「睡眠時間」

◆睡眠時間の増加は運動部の方が約20ポイント高い。

【気持ちや体調の変化を感じた生徒の割合(部活別)】



◆気持ちや体調の変化については、全ての項目において運動部の方が大きい。

◆「部活動をやりたくてうずうずした」では約15ポイント、「朝の目覚めや体の調子がよかった」では約10ポイントの差がある。

【③ネットやゲーム、読書や学習に振り分けられた時間について】

◆読書や学習の時間は増えずにネットやゲームの時間だけが離れた生徒も2割ほどいるが、約8割の生徒は、読書や学習等の活動時間も増加している。

◆相関関係を見ると、ネットやゲーム関連の4項目(マンガ、テレビ(ビデオを含む)、インターネットや動画の閲覧・視聴、ゲーム)の増加数と、読書関連した4項目(読書、自分の興味や関心のある分野の学習、学校の宿題や予習・復習、学習塾での勉強時間)の増加数の間には、弱い正の相関があるといえる。

		読書や学習等の活動の増加数				
		0項目	1項目	2項目	3項目	4項目
ネットやゲーム等の活動の増加数	0項目	(385名)	51名	40名	20名	6名
	1項目	64名	67名	51名	22名	6名
	2項目	62名	80名	70名	32名	7名
	3項目	53名	79名	61名	32名	13名
	4項目	20名	35名	44名	26名	41名

相関係数：0.17 ※両項目ともに増加していない385名を除く

【ネットやゲームの時間ばかりが増加したグループの自由記述欄の例】

(①ネットやゲームばかりしてしまった)

- 時間にゆとりが出来たけれど、ゲームをしてしまった。部活を無くすなら、無くせばいい。
- クラブチームなどで練習すると、個人のレベルアップしかないけど、部活だとチームのレベルもアップするので、部活として練習した方が良かった。自由な時間がありすぎて、時間の使い方が分からず、ゲームばかりしてしまったので、もう少し部活をやりたい。
- 自由な時間を与えても勉強や地域行事に時間を使う中学生は少ないと思うし、逆にゲームセンターとかに使って、悪影響なこともあるなあと思いました。部活は無くさなくていいと思います！
- 放課後部活がないことで、家に帰ってから、だらだらしてしまったので、あんまり良くないと思う。

(②部活がやりたかった)

- 部活に行って、ストレス発散や気持ちを落ち着かせ、勉強を集中して行っているのだから、部活に行けないと疲れが残ってしまう。部活の時間が気持ちをゆったりさせる時間なので、部活はしたい。
- オフ期間にしてもあまり変化が無かったし、部活動を無くされて、逆にむかついたので、やめてください。部活動の時間が長いことの何が悪いんですか？こっちもしっかり授業を終えて部活動をやっているのだから、減らさないでください。まじで減らさないでください。
- 自分も部活動が好きで悲しかったし、部活動を好きな1年生もいるから、やめない方がいい。やらないとみんながゲームをするだけで学習時間も増えない。みんなが遊ぶ時間が増えるだけだと思う。
- 部活が無くて勉強の時間が増えるわけではないと思うし、今一番やりたいのが部活なので、有りにして欲しいです。

(③時間ができて良かった)

- 妹と一緒にいる時間が増えたので、すごく嬉しかったし、楽しかった。だから、なんで、自分は部活動に入ったんだろうと思うときが増えた。今では、若干部活動に入ったことを後悔している自分がある、来年度、部活動そのものを廃止してしまえば楽なのに。

- 柔道に集中できた。柔道に集中して少しずつ強くなっている。
- 部活が無いことによって、自由な時間が増えて良かった。でも部活をしないことによって、肥満になりそう。部活はあった方がいい！
- 最高だった。
- 僕は、あっても、なくても、どちらでもいいです。でも、ゆったり出来ました。
- 自分の時間が増えて良かった。趣味や自主トレーニングなどが出来た。
- これからずっと放課後部活動オフでいいです。

【読書や学習等の活動が増加したグループの自由記述欄の例】

(①計画的に勉強等ができた)

- メリットとデメリットがあった。メリットは勉強時間が増えたこと。デメリットは、部活が無い分をクラブで補っていたので親の送迎が必要になったこと。大会のために全て無くすのは困る。できれば延部もあってもらいたい。
- 時間を計画的に使えたのでよかった
- 放課後部活動が毎日あると、テスト前のテスト勉強が出来なくなって時間に余裕が無くなってしまいました。
- いつも忙しくて自分の時間が取れなかったり、沢山勉強できなかつたりして、きつかったけど、部活や社体が少ないと、時間が自由に使えて良かった。出来れば、これからも部活や社体が少ない方が体調も整い、とても良いです。
- 放課後の社体があった時は、宿題をするだけで終わってしまうので、ないときは宿題の他に自分のやりたいこと、やらないといけないことができ、良かった。

(②ダラダラ勉強してしまった)

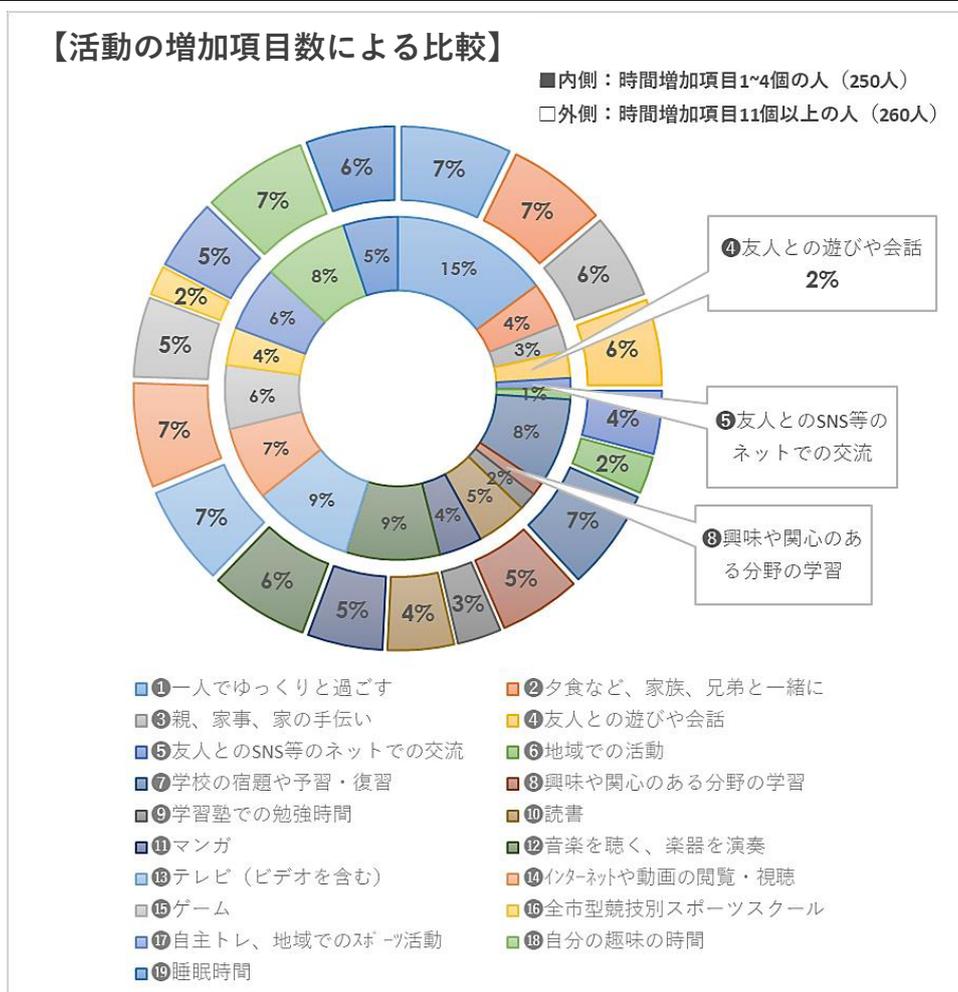
- 勉強する時間が多かったけれど、時間が多く焦ったりすることがなく、はじめがなかなかつかかなかつた。

(③部活もやりたかった)

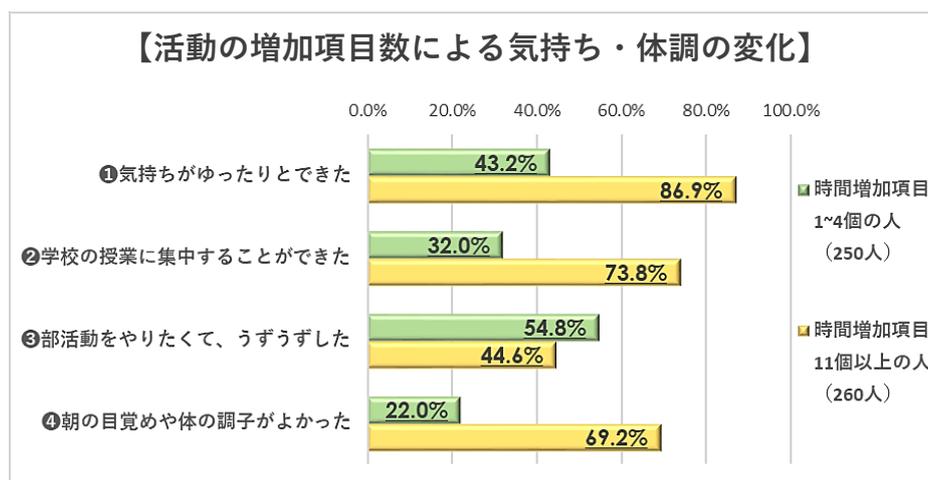
- 部活が無くて、勉強する時間や自分のやりたいことが自由に出来る時間があったから良かったけど、部活が早くやりたいと思った。
- 部活の時間が少なくなって、勉強する時間は増えて良かったけど、部活動の練習したりする時間が少なくなってしまったのは少し残念だった。
- 時間はあったけど、部活がやりたかった。

【④活動時間の増加項目数の大小による比較】

- ◆活動時間の増加項目数が低いグループ(選択数が 1~4 個、250 名)と、増加項目数が多いグループ(選択数が 11 個以上、260 名)では、時間の使い方について概ね同様の分布が見られ、**増加項目の低いグループも特定の項目に活動が集中することはなかったといえる。**
- ◆ただし、活動時間の増加項目数が低いグループの自由記述欄は、オフ期間に反対の意見が多い。



- ◆活動時間の増加項目数が多いグループでは、85%を超える生徒が「気持ちがゆったりとできた」と感じている。
- ◆自発的・内発的に多くの活動をした生徒ほど、時間のゆとりができたと感じ、授業に集中し、朝の目覚めや体調が良かったと考えることができる。



【活動時間の増加項目数が多かったグループの自由記述欄の例】

①やりたいことができた、時間ができた

- 放課後の社体があった時は、宿題をするだけで終わってしまうので、ないときは宿題の他に自分のやりたいこと、やらないといけないことができ、良かった。
- 部活が1か月間無かった事によって、前よりも勉強にしっかり集中出来たし、家族と過ごす時間も増えて良かった。これからもそういう時間を増やしたい。
- いつもよりゆっくりと過ごせて自分の好きな事をして過ごせて良かったです。
- 勉強する時間が増えて良かった。
- オフ期間の間、有意義に過ごすことが出来たので良かったです。家族との団欒が増えたので良かったです。せめて土日の部活などは出来るだけ無くして欲しい。気持ちを切り替えるために延長部活の時間を減らして欲しい。
- 放課後部活がオフだと自分の勉強の時間や趣味の時間などが取れてすごく充実した日だった。とても良かった。
- 部活が無い日はゆっくり過ごせるから良かった。
- また、放課後部活動オフ期間が欲しいです。自分の時間をもっと作りたいです。
- 一人の時間作れてすごい良かった。
- このままの方がいいと思った。自分の趣味などをゆっくり楽しめるから。
- 放課後部活が無いと体も休むし、ストレスが溜まりにくくなって、とっても良かった。今までは、放課後部活がある時は宿題などにやる気が起きず、文武両道が出来なかった。でも、この制度が出来たことで、とても勉強がはかどった。
- 忙しくて出来ないことが、出来るようになった。半月ずつ夏と冬にやってみても良いなと思った。
- 時間を計画的に使えて休める時間も増えて良かった。
- 最高です。(自主トレの時間が増えた。時間を楽しく有意義に使えた。)
- 来年度の9月に行く予定ですが、もう少し早く行う。
- 放課後部活オフ期間によって、家での時間の使い方が有意義になったので良かった。
- 放課後部活が無い方が、勉強に集中出来るし、家族の時間が増えたから、無い方がいいです。
- オフ期間では部活が少なくなって、他のものに集中出来るようになったので、続けて欲しいけど、他の部活でクラブが増えて、あまり変わらない所があったりしたので、その所を改善してほしいです。

②今まで時間的、体力的な余裕がなかった

- これからもオフ期間のような感じでいいと思います。今までは、延長部活の後に習い事など、いろいろ大変だったので、今回のように続けて欲しいです。
- 部活が無いとその時間を授業の復習の時間などに使えたから良かったです。放課後部活はいらないと思う！（やりたい人は社会体育やクラブに入ればよいと思います。）部活が多すぎ！
- 延部は週一で。朝部終わってから、すぐ朝読書、準備などをするのは大変。時間が無い！！部活無くてもOKですよ～！

- 1 か月間部活が無かったのですごく体が休まった。やる時はしっかりやって、休む時はしっかり休んだ方がいい。
- 部活や社体のやる時間が多くて、宿題をやる時間や寝る時間が無かったので、とてもいい期間だと思いました。
- すごく良かったので、もっと減らして欲しい。
- 今回のオフ期間で体も心も休め、自分の時間が沢山増えた。今後も何回かやってほしい。
- ゆっくり出来て、心も体もリラックス出来た。
- 放課後の部活がなかったら、いつも夜遅くまで時間が掛かってしまっていた宿題が早く終わることが出来て、朝もすっと起きることが出来て良かった。自分の時間も増えて、今までやろうとして出来なかったことが出来たし、社体だと親がいろんなことを言ってきて、日々のストレスになっていたけど、1月はみんなに対して優しく接することが出来た。

(③部活もやりたかった)

- 朝部を無くして、放課後有りがいいです。楽しく過ごせた。けど、部活やりたい！っていう日もあった。
- 放課後部活はあった方が良い。
- 飯田市がやっていないだけで、他の市がやっていたら、大会に差がつくと思う。日曜だけあって欲しい。
- 「部活をやりたい」という気持ちもあったけど、体をしっかりと休める事が出来ました。
- 家でゆっくりしたり、自分の時間は増えたけど、暇だったから、部活をやりたい。
- まだ部活をやりたい。部活をやりたくてしょうがなかった。他の地域もオフにして欲しい。レベルの差が開いちゃう。中体連が心配。
- ゲームをする時間が増えてしまった。部活があった方がいい。
- 放課後の部活が全てオフだったから、そうではなくて、週一くらいは出来るようにして欲しい。
- 部活をやらないことによって、先生の自由な時間が増えたり、負担が減ったのは良かったと思う。でも、部活が無いと、やっぱり体力やプレーの質が落ちている感じがするから、我がままだと思うけど、部活はあって欲しいものです。
- 部活動オフになって、いろいろなことは出来たけれど、運動をすることが減って、暇になる時があった。オフにすると、自主練習は出来ても部の人との関りが無くなって大変だと思った。
- 部活動が無くなったことによって、良い面や悪い面があった。体が鈍った。感覚が薄れた。勉強時間が増えた。家でゆっくり過ごせた。睡眠時間が増えた。授業に集中できた。

【活動時間の増加項目数が少なかったグループの自由記述欄の例】

(①他のクラブ等で忙しかった、そもそもそう変化はしない)

- 部活動はありませんでしたが、コーチが立ち上げたクラブに入っているため、休日の練習がほぼ毎回あり、その中には1日中ずっとやっていることもあったので、体の疲れが取れることはありませんでした。部活動までとはいきませんが、もう少し休みがあってもいいのではないかと思います。また、僕の部活では、もう社会体育活動は、行っていませんが、遅くまでやっていると、体が本当に疲れてしまうので、社会体育は無くなっていいと、僕は思います。
- オフ期間があったとしても忙しく、あまり変化は無かった。

- 部活をしていた友達が少し遊べる時間が増えただけだった。スポーツ以外の活動は、ぜひやってほしい。
- 放課後部活が無くなっても、意識の高い人しか変わらない。社体とか部活を中体連に向けて頑張りたいという人のことも考えてほしい。
- 吹奏楽部に関しては、あまり大きな変化は無かった。

(②部活がやりたくてうずうずした、悲しかった)

- 部活の時間を減らさないでほしい。家でやることが無く暇な時がある。ゆっくりとする時間が少なくて疲れるけれども、部活はきつくても楽しいから減らさないで下さい。
- 運動部で部活がないと上伊那や他県と差がついてしまう。部活を無しにしたとしても、スクールがある種目と無い種目があるのは不公平だと思う。勝ちたかったり、全力で取り組みたい人もいるので、いつも通りに行って欲しい。
- もっと部活をしたい。部活やりたすぎでうずうずしまくった。もう部活やりたすぎ
- 中学生の部活は一生に一度なので、テスト期間以外は、朝の部活も含めて沢山したいし、もっと強くなりたい。
- 運動部にはスポーツスクールなど、何かしら対応をしているのに、文化部へはなぜ何も対応しないんですか？放課後部活動オフ期間はいません。
- 飯田市だけ社会音楽を無くすと、ライバル校だけがやるとか、自分たちは勝つために練習したいのに悲しいです。しかも、12月～1月は練習時間が無くなって、楽器を持って帰りづらい人もいるし（チューバなど）持って帰って、やる気はない人はやらず、下手になって、大会に出れなくなってしまうので、月2回とかでもよいので、社会音楽は、完全になくさないで欲しいです！！（もっと部活もやりたいし）再来年の1年生が苦労すると思います。
- 部活動をやりたかったが、1人の時間にも変化が無かった。
- 練習の時間が無くなってしまうのは、とても悲しい。中体連まで時間が沢山あるわけではないので、全く練習が無いというのはいけません。今まであったものが無くなってしまえば生活リズムがおかしくなる。
- 部活が出来なくて、悲しかった。

(③時間はほしいが部活もやりたい)

- 有意義な自分の時間が増えたのでいいと思いました。でも、中体連に向けて大事な時期なので、やめてほしいです。

(④そもそも個人の問題)

- 部活動オフでも、勉強に集中出来たとか、家族と一緒に過ごす時間が増えたとかは変わりは無かったです。「部活が多くて勉強出来ない」等、言う人が多いかも知れませんが、自分が勉強してないわけで、部活のせいでは無いと思います。なら、部活も大切だけど、勉強が出来ないのなら、部活を休むべきだと思います。あと、自分は部活が無いと体力とかが落ちるのが嫌だから、部活があると嬉しいです。

【⑥全市型競技別スポーツスクールに参加した部活動加入者の傾向】

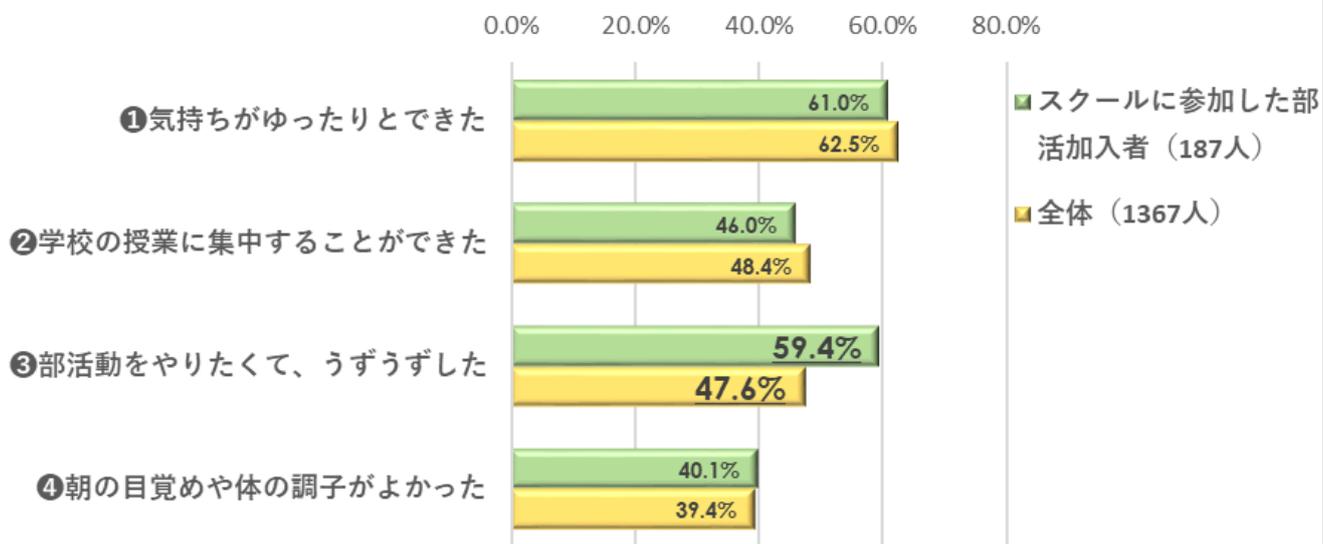
部活動 (運動部 175名 文化部 12名)

自由記述欄 (反対 50名 賛成 41名)

【スクールに参加した部活加入者の時間の使い方】



【スクールに参加した部活加入者の感じた変化】



◆「部活動をやりたくて、うずうずした」と感じた割合は、全体よりも約10ポイント高い。

◆一方、活動時間の増加については全体とほぼ同じ傾向を示しているため、**全市型競技別スポーツスクールに参加した生徒は、部活動をやりたくてうずうずしながらも、オフ期間中にある程度有意義に活動したものと捉えることができる。**

◆また、活動時間の増加が全体と同様であることから、特別に積極性をもった生徒が参加した訳ではないと考えられる。

【全市型競技別スポーツスクールに参加した生徒の自由記述欄の例】

①スクールに参加できて有意義だった

- 自分で時間を決めて生活する力がついてよかった。部活の時間が減ってしまうことに不安を感じた。全市型スポーツスクールの日数を増やしてほしい。
- 顧問以外の人から教わったりしたのはいい刺激になったと思った。
- オフ期間をきっかけに、スポーツスクールに参加出来て良かった。
- 自分の時間が増えた。適度にスポーツスクールがあったので良かった。
- オフ期間は様々なことをやったり、疲れが取れた。部活はあって欲しいが、疲れが溜まり過ぎると学校がダルくなってしまうので、今回のスクール活動がいいと思った。
- ゆっくり家族と過ごすことが出来たが、少し部活をしたいという気持ちもあった。でも、この全市型のスポーツスクールは、これからも続けて行ってほしいと思いました。
- 他の学校の人と交流することが出来て良かったです。来年度はたまに、部活のオフ期間を作ったらいいと思います。
- 普段出来ないスポーツが出来たので、とても良かった。楽しい時間になった。もっとオフ期間を長くして欲しいと思った。
- 1月のように放課後部活動オフがなくて自分のやりたい事が習い事でもっとやりたいことができるから充実していた。強くなりたい人は空いている日に市のスポーツスクールに行けばいいと思う。
- オフではあったけれどまた違うことができて良かった。
- オフ期間中は様々な事をやったり疲れがとれた。部活はあってほしいが疲れがたまり過ぎると学校がダルくなってしまうので今回のスクール活動がいいと思った。
- 部活が無かったのはいやだったけれど、その間にスポーツスクールを開いてくれたのはすごく嬉しかったです。また定期的にスポーツスクールを開催してほしいです。
- スポーツスクールに行ってみて、もともとやっていた人が優しく教えてくれたり、他校の人と楽しく交流できてよかった。
- 全市型競技別スポーツスクールに参加したのですが、他校の人と楽しくできたので良かったです。
- やったことのなかった「コーディネーショントレーニング」を知ることができてとても楽しかった。他の学校の人とも仲良くなれて良かった。もっと回数を増やしてほしい。
- スポーツスクールが無い時は部活もなくすごく部活がしたかった。スクールでは細かいところ、コツを教えてくれて、多人数で楽しく楽しかった。
- 来年は部活動もやりつつ全市型競技別スポーツスクールもやっていたほうがいいのかと思うし技術アップにもつながる。
- 放課後部活動が無くなって心や体にゆとりが持てた。スポーツスクールも楽しくやることができたし、自分のためになったので良かったです。テスト勉強の時間もつくる事ができて、勉強に集中できるようになった。

(②スクールも良いがやはり部活動)

- 色々な学校の人や先生たちと一緒にやって、新しい知識を得られたけど、同じ学校の人と一緒にの方が楽しめるし、高めあえる。夏の大会に向けてチームで練習していきたいから、クラブの方がいい。
- 全市型競技別スポーツスクールは他校の人とも交流できるいい機会だと思うけど部活をできなくなって1日の過ごし方が変わってしまい過ごしづらいから部活+スポーツスクールにしてほしい。(町村のところが練習時間の差ができて大会で不利になってしまう。)
- 部活だけでなく社体がないのはつらいです。動く時間が減りモチベーションが上がらなかつたり体力が落ちて大会が大変でした。スポーツスクールに参加するのもいいけれど、チームスポーツは個々のチームでも行っていききたい。
- 全市型競技別スポーツスクールは時間がとても短いのもっと長くしてほしい。できるなら部活に戻してほしい。勝つためのだから時間が長いのも仕方のないことだと思う。

(③スクールの終了時間が遅かった、生活リズムが乱れた)

- 時間が遅くまでだったから、睡眠時間や学習時間が減ってしまった。(スポーツスクール)
部活やりたいから、勝手な事しないでください。スポーツスクールとかより普通に社体がしたい。
- 延部は廃止しないで下さい。全市型競技別スポーツスクールで少し勉強が進みづらかったです。
- 全市型競技別スポーツの時間が多すぎて勉強まで手が届きません。時間が10時間以上なので、土日5時間ほどにしてほしいです。
- 生活リズムが崩れました。もっと部活動をしたいです。学校のチーム全体で練習したいです。行きたくてもスポーツスクールだと行けない人もいると思うので自分の学校で普通の部活をしたいです。わざわざこんなことをしなくてもいいと思います。自分の好きなことをやるために社体をなくしたのに自分のやりたいことができません。
- 朝起きる時間が遅くなった。他の学校の人とやるのがいやだ。部活の時間を長くしてほしい。スポーツスクールより社会体育の方が楽しい。スポーツスクールの終わりの時間が遅い。
- 時間が遅くまでだったから睡眠時間や学習時間が減ってしまった。部活やりたいから、勝手なことしないで下さい。スポーツスクールとかより普通に社体がしたい。
- 全市型競技別に参加して、夜遅くの帰宅が多くて睡眠時間が減ったり勉強時間が減って勉強が十分にできなかったの、放課後部活動はあった方が良かったです。

(④送迎が課題)

- 学校の部活動には所属していませんが、オフ期間中のスポーツスクールは送り迎えができる人しか参加することができないので参加していても送り迎えがおらず参加できない人もいるともうのでオフ期間をつくることはいいと思います。スポーツスクールの方を考えていけばいいと思います。
- わざわざ遠い会場へ行くのは親も大変。他の学校の人とやるのはイヤ。チームで練習したい。他のところとやっても考え方とか違うからそれぞれでやった方が強くなると思う。
- 部活がないと大会とかでも困るし体を動かすことができなかつたからとても嫌だった。全市型競技別スポーツスクールだと送迎ができない場合もあるし。部活でしっかり練習したいから部活はなくさないでほしい。

(⑤種目やレベル、人数の改善)

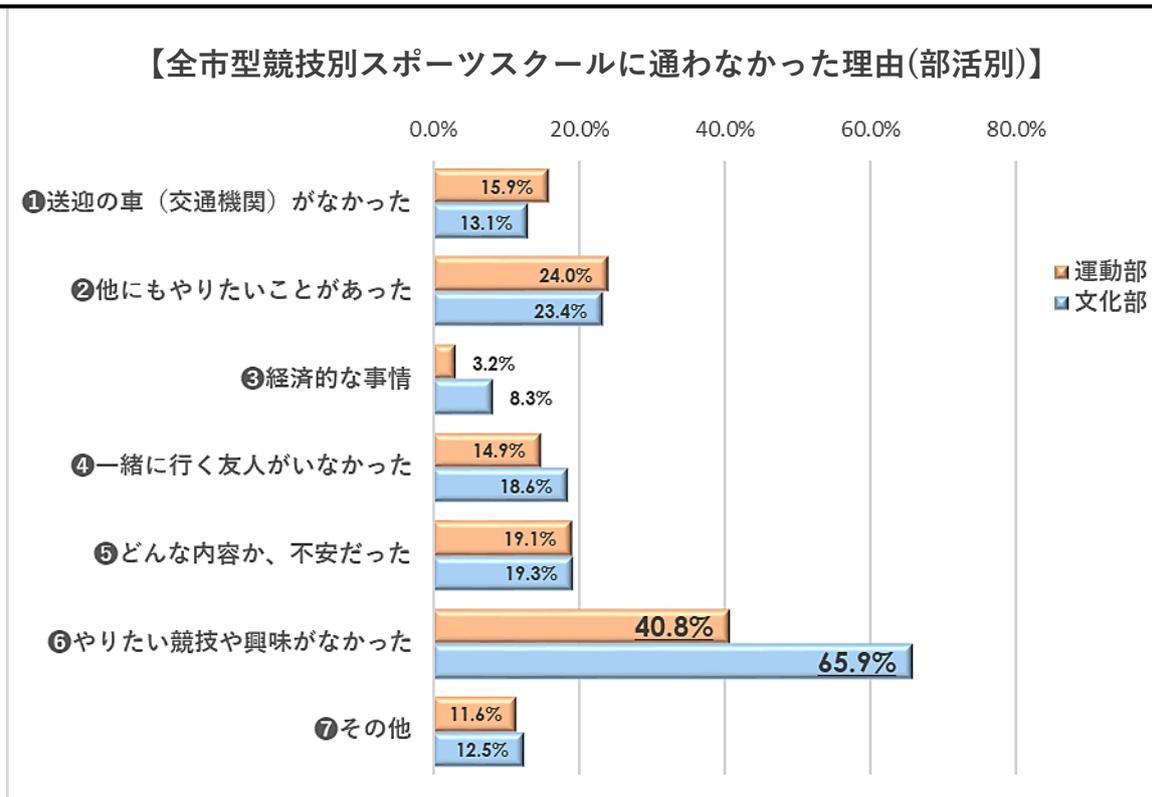
- 全市型スポーツスクールの種目数が少ないと思った。
- 全市型スポーツスクールに参加したけれど、レベルを考えてたりしてやれば楽しいと思う。放課後部活動オフ期間を来年もやってほしいです。
- 人数が少なかったなので、少ないところの対応をしてほしいです。
- 他のスポーツも増やしてほしい。
- 教えてもらう人が20人以上に対して教える人がほとんど1人だったのでなかなかボールに触ることが少なかったので来年度は指導者を増やしてほしいです。

(⑥その他)

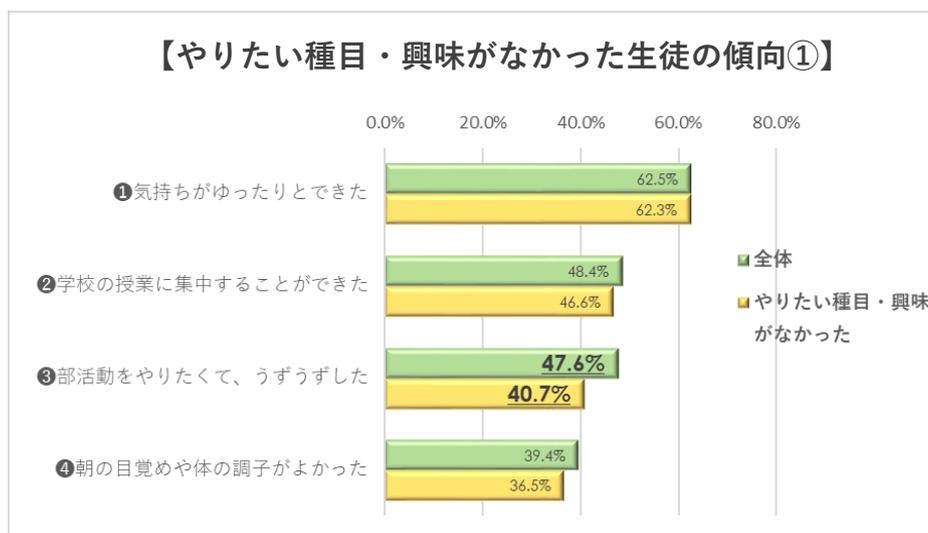
- オフ期間には女子高校でスポーツスクールがあったのであまり部活がある・ないの違いが分かりませんでした。バレーが少し上達したと思います。
- テスト勉強に時間をあてることができた。全市型競技別スポーツスクールを週に3～4回にして、部活の分を取り戻せるようにしてほしい。

【⑦全市型競技別スポーツスクールに通わなかった理由からの分析】

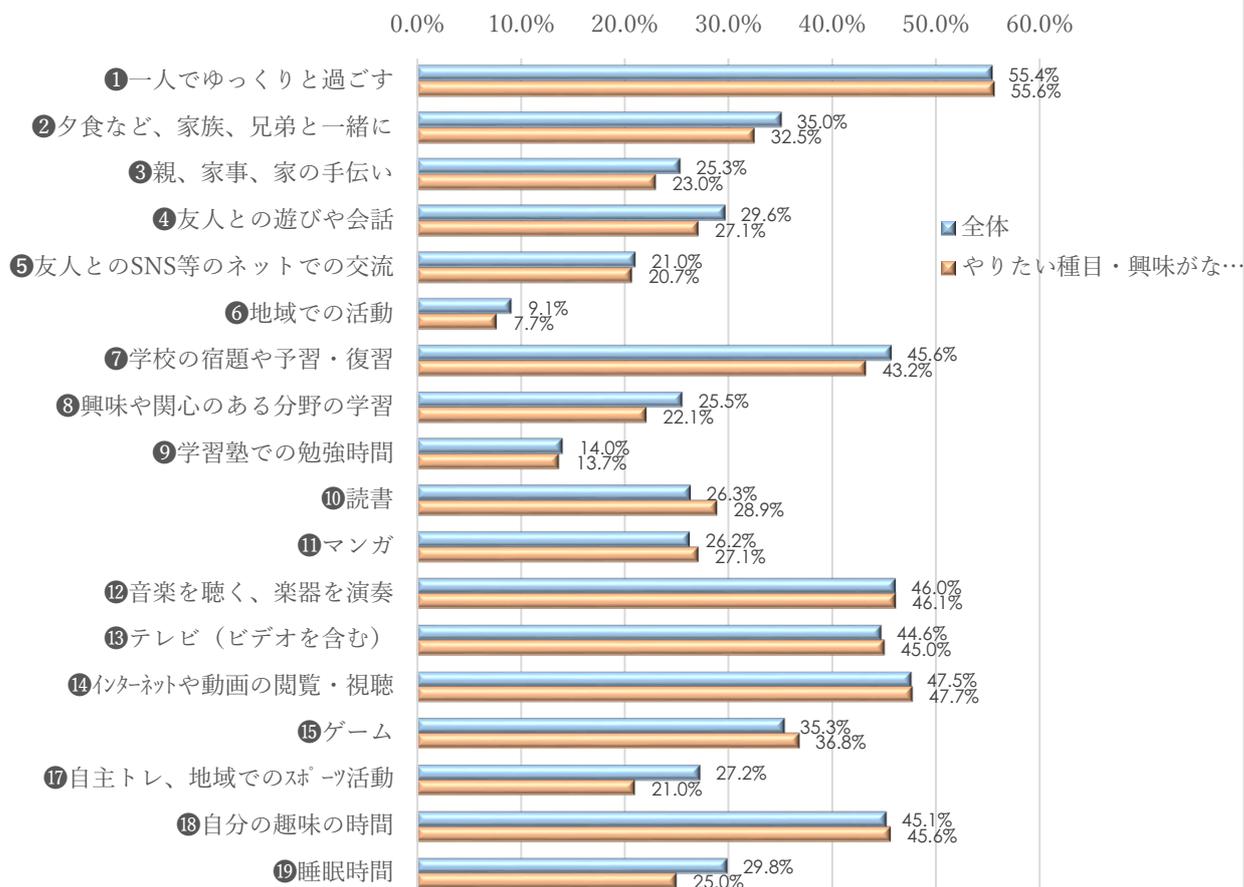
- ◆運動部・文化部別に理由を比較すると、「やりたい種目や興味がなかったから」の回答が、文化部が25ポイント運動部を上回る。
- ◆「やりたい種目や興味がなかったから」の回答者773名のうち、運動部は371名、文化部は300名。



- ◆「やりたい種目や興味がなかったから」を選択した生徒は、「部活動をやりたくて、うずうずした」割合が全体に比べて7ポイントほど低い。
- ◆時間の使い方については、「一人でゆっくりと過ごす時間」、「読書」、「マンガ」、「ゲーム」、「テレビ」等の、一人での活動項目が多い傾向にある。



【やりたい種目・興味がなかった生徒の傾向②】

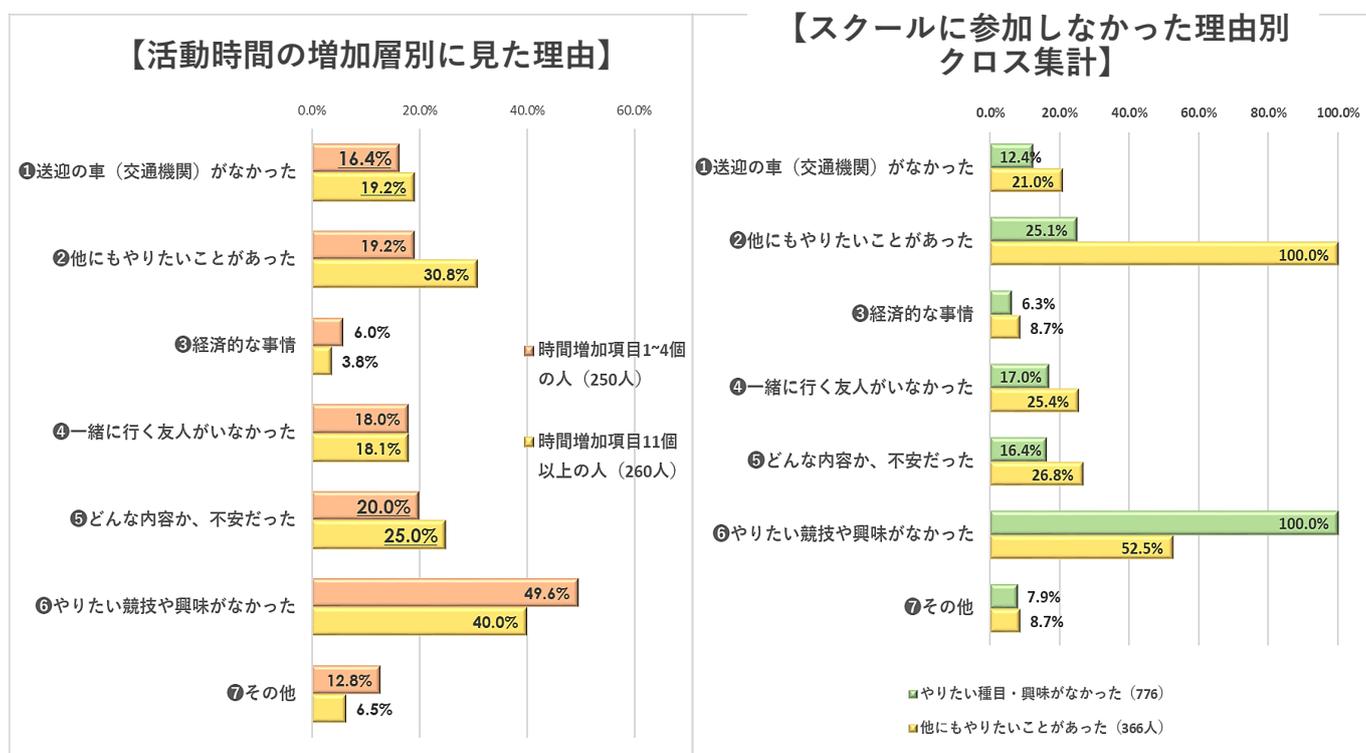


◆「他にもやりたいことがあった」を選択した 362 名は、実際に活動時間の増加が全体よりも大きい。

【他にもやりたいことがあった生徒の時間の使い方】



- ◆活動時間の増加が大きかった生徒と、「他にもやりたいことがあった」を選択した生徒は、全市型競技別スポーツスクールに通わなかった理由の選択割合が全体的に大きく、スクールへの参加意欲が高い層といえる。
- ◆これら生徒のうち「送迎の車(交通機関)がなかった」の選択者が約5人に1人、「どんな内容か、不安だった」の選択者が約4人に1人。
- ◆まずはこれらの層への働き掛けが効果的と考えられ、今回の全市型スポーツスクールの実施の様子や今後のスクールの内容の周知とともに、スクールの実施場所の増加など、送迎の負担が軽くなる方策の検討が重要。
- ◆同様に、「やりたい種目・興味がなかった」を選択した生徒の興味・関心の把握・分析も、今後の重要な課題である。



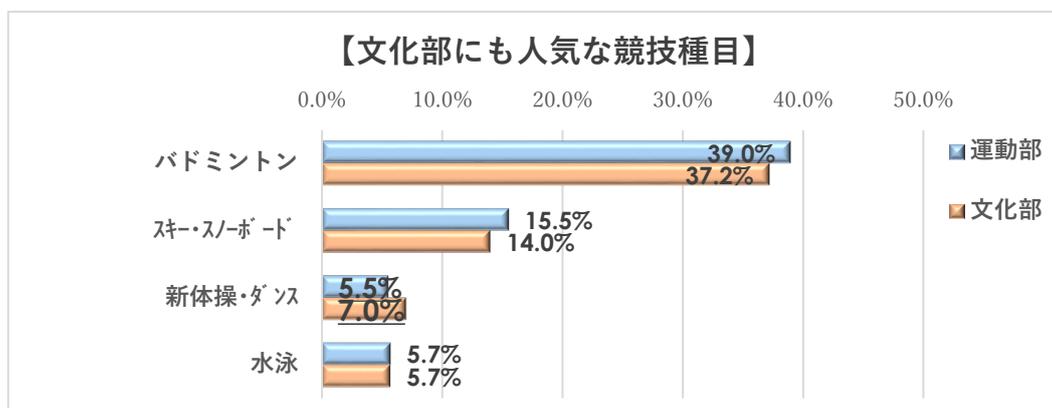
【⑧あれば参加したい全市型競技別スポーツスクールの種目から】

- ◆運動部もスポーツ以外の活動を、平均1つ以上選択している。
- ◆同様に、文化部もスポーツ活動を、平均して1つ以上選択している。

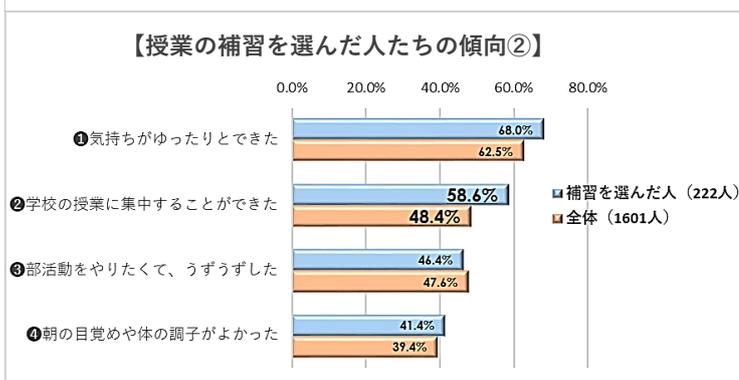
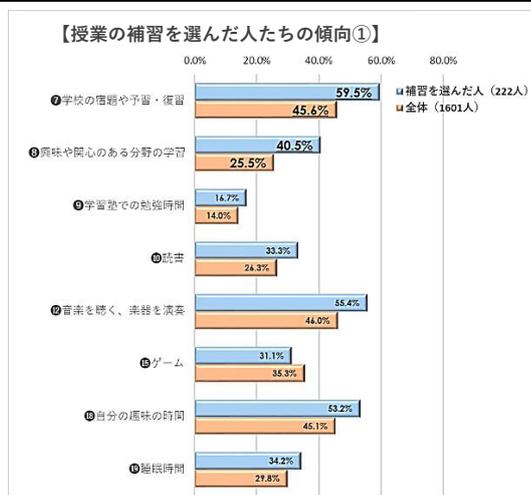
【運動部・文化部別の選択した活動種目数】

	スポーツ活動の数	スポーツ以外の活動の数
運動部(910名)	2.25個	1.35個
文化部(457名)	1.44個	2.18個

- ◆バドミントン、スキー・スノーボード、新体操・ダンス、水泳のように、文化部からも運動部と同等か、それ以上に人気の高い種目もある。



- ◆例えば「学校の勉強の補習（授業でわからなかったところを補っていく勉強）」を選んだ252名の生徒の時間の使い方を見てみると、「学校の宿題や予習・復習」、「自分の興味や関心のある分野の学習」が多く、学校の授業に集中していた割合も高いことから、勉強意欲の高い生徒が更に学びたいニーズであると推察される。



- ◆今後、こうした分析を深めるとともに、必要に応じて更なるニーズの調査を行い、生徒が有意義な時間を過ごせるための活動の充実の検討を進める。